

第1回 向日市公共施設等総合管理計画検討委員会 会議録

1. 開催日時

会議日時：平成28年6月28日(火) 14:00 ~ 16:00

場 所：向日市役所 中部防災拠点 2階会議室

2. 出席者

委 員：石原修委員、香本和也委員、中西ひろみ委員、中村尚夫委員、横山幸司委員
(五十音順)

事務局：物部総務部長、鈴木総務部副部長兼総務課長、森総務課主幹兼管財係長、
谷澤総務課主任

傍聴者：2人

3. 審議内容

- ・ 検討委員会開催スケジュールについて
- ・ 向日市の公共施設
- ・ 公共施設を取り巻く現況
- ・ 公共施設等総合管理計画策定に関する市民アンケート調査結果の概要
- ・ 公共施設等総合管理計画に関する管理方針の方向性

4. 会議概要

委員会開催趣旨

本委員会は本市が所有する公共施設等の建築物、その他の工作物(以下「公共施設等」という。)の総合的かつ計画的な管理の方針を定める計画(以下「公共施設等総合管理計画」という。)を策定するに当たり、専門的な見地から意見を聴取するため、検討委員会を設置し、平成28年6月28日に第1回向日市公共施設等総合管理計画検討委員会を5人の委員をもって組織し開催した。

委員長選出

事務局から滋賀大学社会連携研究センター教授として、地方自治制度や生涯学習政策の研究に努めておられる横山幸司委員に委員長を願いたい旨の提案があり、他の委員から異議なしということで、横山委員が委員長に決まる。

委員長所信

他の自治体でも同様の委員をしており、向日市より本当に切羽詰まった市町があります。

しかしながら、今後10年20年先を考えますと、同市もやはり全く無視することはできません。

これから迎える高齢化等を考慮し、ハードとしての建物だけを見据えるのではなく、実はそれに付随するいろんなソフト面の制度等も合わせて考えていかなければならないところもあるかと思えます。

本委員会では、なるべくそうした大きな視点を踏まえて、計画の議論をいたしたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

本題議事概略

事務局から資料を用いて以下の大きな 3 点について説明

- ・公共施設(公共建築物)の総量・老朽化に関して
- ・公共施設等総合管理計画策定の方向性
- ・市民アンケート結果

意見、提案等

公園

- 公園は災害時に一時避難場所にもなる重要なところですが、今回は対象とならないのですか(委員)
- 公園についても位置、面積情報等のリスト化をすすめているところでございます。またこの委員会でも公園に対する方向性に対するご意見等もご議論いただければと思います(事務局)
- 公園自体の管理方式において、指定管理制度等の検討も必要となってくるのではないのでしょうか(委員長)

施設の維持管理

- この先、高度経済成長は考えられず、その中で社会情勢、人口推移等を考慮し、バランスをとりつつ向日市が魅力ある市になることを目指していくのだと思いますが、その中に、公共施設の維持管理も現状のままでいいのかというのは、議題に入らないのですか(委員)
- 入ります。その辺を大いにご見解、ご議論いただければと思います(事務局)
- 実際、今ある施設を本当に全て維持管理すべきなのか、例えば、小学校が 6 つも必要なのか、全体の方向性を決めなければならないと思います(委員)
- 喫緊にということではなくとも、現状で判断するのではなくて、ある程度、やはり 10 年 20 年後どうなのか。今後を見据えた時に、施設にかかる維持管理費・更新費等を考えますと、当然、議論していかなくてはならないですね。当然、この委員会でも研究していかなければいけない分野になっていくと思います(委員長)

インフラ施設

- 昭和 40 年代に敷設された配水管・給水管が多く、更新しなければいけない年代になってきています。市の上下水道の予算が一般会計とは別になっているので、ここに入れにくいのかもかもしれませんが、トータルで考えなければならないと思います(委員)
- 上水道・下水道のほか道路橋りょうも含め、インフラ施設ということで解釈しておりますので、それについてもこの計画の中であげていきたいと思っております(事務局)

教育施設

- 一番感心が高かったのが、学校教育施設で、資料をみていくと本当に何が必要で何を残していかなければいけないのか見えてきます(委員)

施設全般に関して

- 今後施設ごとの詳細情報はでてくるのでしょうか(委員長)
- はい。全ての施設を現地調査いたしました。その調査結果を施設カルテとして作成いたしました(事務局)
- カルテのみですと、中々議論もできないので、ある程度、市当局の考えの方向性というのが示されるといいですね(委員長)

施設にかかるコスト

- 今後、人口の構成が変わってくるというデータもあります。我々世代はいいとしても、やはりこれからの人は大変かと思います。そういうところもしっかり把握し、利用料とか使用料とか(費用対効果)が課題かなと思っています(委員)

市民アンケート結果

- 市民アンケートの結果からみると、例えば施設の複合化とか集約化とかに対してものすごい理解があるんですね。ある程度、思い切った改良プランというの、是非この際お示しいたぐというの、私はいいい機会じゃないかなと思うのですけどね(委員長)
- アンケート結果の複合化と集約化は、いい案だと自分の感覚では思います(委員)

施設の管理・運営手法

- 民営化とか指定管理者制度とかのいわゆる民間活力の導入に対して、変な誤解とか先入観というのが非常に多くて、今まで進んでこなかったという背景があります。実際には、本当によく考慮された民間活力を導入すれば、おそらく向日市民の皆さんには、かなりきちんと理解をしていただけるのではないかと思います(委員長)
- 公園とかやはり使い道を考えたいなと思います。楽しく向日市に来たくなるような、建物とか公園とかがあれば、私たちが向日市民としても誇りに思いますし、そういう街を子ども達に残していければいいなと思いますね(委員)
- 公園に関して言えば、地域に管理をお願いする方法もあります。しかし、近年では地域が疲弊し、維持管理する人がおらず、もう一度市に返上するというような現象もあります。ここは非常に深い問題がありまして、委員がおっしゃったように、また私も一方で事業仕分けというような仕事もしておりますが、やはり高度経済成長時代に出来た建物・制度・組織といったようなものがそのまま残っていて、それをやっぱりスクラップアンドビルドしていかないといけないというのが今の地域の現状だと思います。一方で、やはりそういったことで、誰がその運営管理の主体として適切なのかということは改めて考えないといけないかと思います。また、最後の手段としては、売却することもやはりありえるのではないかとということも視野に入れていかないと、いい話だけで計画は作れないのかなと思います(委員長)

施設の今後のあり方

- まちづくり全体の中で施設がどういう役割を果たすかというのは非常に大事です。近隣のところと連携をして近隣の市民も借りられるような図書館もいっぱいあります。実際、住んでいる市民の皆

様が一番大事ですが、近隣の市と連携の中でその施設がどうあるべきかという視点も重要です(委員長)

- 高齢化社会に向けて、高齢者が楽しんでいただく施設を新しく建設していくのは難しいでしょう。そうすると、現状の施設をうまく活用してゆかなくてはならない。しかし、利用方法や利用料などは昔のままです。例えば、市民プールも市外の方が多く、長いこと使っています。そういうことも全て含めて、利用者、利用方法、利用料金の見直しの必要があるのではないかと思います(委員)
- 利用料金に関しても、高くということではなく、現状に見合った適正価格というのが大事かと思います。建物だけのことではないのですよね。それに伴う制度そのものも見直すきっかけに、いろいろな意見を発表していただきたいと思います(委員長)